

れきはく NEWS

vol.48

2020.MAR

島根県立古代出雲歴史博物館の
旬な話題や情報をお届けします

Shimane Museum of Ancient Izumo

CONTENTS

- 2 この春、古代出雲歴史博物館が、
リフレッシュオープン!
- 4 再オープン記念特別展
「行列 雲州松平家と出雲国造家」
- 6 展覧会通信
ミュージアムパスポート会員様限定
キャンペーンのご案内
- 7 令和2年度展覧会のご紹介
- 8 れきはくごよみ/ショップインフォメーション

島根県立古代出雲歴史博物館 リフレッシュオープン
令和2年4月24日[金] Refresh OPEN

行列

雲州松平家と
出雲国造家

再オープン
記念特別展

松平斉貴上京行列図（江戸時代／東京国立博物館所蔵）
写真提供：東京国立博物館 Image：TNM Image Archives

洛中洛外図屏風（島根県美本 江戸時代／島根県企業局所蔵）

国宝 白糸織鍬（鎌倉時代／出雲市 日御崎神社所蔵）
写真提供：東京国立博物館 Image：TNM Image Archives

令和2年4月24日(金)～5月18日(月)
特別協力：東京国立博物館
25日間限定

古 一代出雲歴史博物館では昨年秋からこの春にかけて休館し、オープン後初の改修工事を行っています。

休館により皆様にご不便をおかけし、申し訳ございません。

今回の改修は主に①展示内容のさらなるパワーアップ②来館者の皆様へ「おもてなし」の充実という目的で実施するものです。ここでは4月24日のリフレッシュオープンを前に改修のポイントや記念イベントをご紹介します。

令和という新時代を迎え、新たなステップを踏み出した歴博へぜひお越しください！



refresh:01

中央ロビーとテーマ別展示室に新規の展示物を追加し、よりわかりやすい展示へとパワーアップします。

また、情報交流室に日本遺産紹介ブースを新設し、様々な情報を提供します。



リフレッシュオープン！

中世出雲大社の本殿の 心御柱・宇豆柱そろい踏み！

中央ロビーでは出雲大社境内遺跡から出土した宇豆柱を展示してきましたが、これに加えて心御柱の実物大の複製品を展示します。発掘された巨大柱を2セット、造営当時の空間を再現しながら展示することで、出雲大社の壮大さがより実感できるようになります。



テーマ別展示 「出雲国風土記の世界」を大幅刷新！



『出雲国風土記』の内容をわかりやすく解説した展示が新設されます。ここでは『出雲国風土記』の完成した当時の姿を再現した復元品による解説を新たに設け、よりじっくりと風土記の世界を堪能できる展示に生まれ変わります。このほか『出雲国風土記』に記された国引き神話をプロジェクションマッピングのダイナミックな映像で紹介いたします。

加茂岩倉遺跡の銅鐸埋納状況をリアルに再現！



国内最多の銅鐸出土数で知られる加茂岩倉遺跡の銅鐸が埋納された様子を、発掘調査時のデータをもとに実物大で再現します。「入れ子」となった銅鐸がひれを立てた状態で隙間無く並べて埋納されていた様子を再現しています。まばゆく光る銅鐸が密集して配置された様子は圧巻です。

情報交流室に 県内日本遺産紹介ブースを新設！

県内の5つの日本遺産を紹介するエントランス・ゲートウェイとして情報交流室に新たにブースを設置します。映像コンテンツの上映や、各ストーリーを象徴するイメージポスターとともに展示します。またパンフレットやマップを配布するとともに、様々な資料の閲覧も可能なスペースです。



refresh・02

外国からのお客様への対応のため映像ソフトを多言語化(英語・韓国語・中国語)します。さらには、エントランスやカフェなどのオープンエリアの空調を改善し、より快適に過ごしていただけるようになります。これらの改修で、より多くの来館者にやさしい博物館にリフレッシュします！

リフレッシュポイント②
おもてなしの充実

この春、 古代出雲歴史博物館が

古代出雲歴史博物館
リフレッシュオープン
記念イベント!

れきはく リフレッシュ オープン フェスタ



4月24日(金)

- ご来館いただいた皆さまに
先着プレゼント
(無くなり次第終了となります)

4月25日(土)・26日(日) いずれも 10:00~15:00

- ご来館いただいた皆さまに
先着プレゼント
(無くなり次第終了となります)
- 神戸川太鼓<オープニング>
(25日(土)のみ)
- 出雲神楽と石見神楽上演
- 紙芝居師なっちゃん登場
「出雲神話の紙芝居」
- れきはくちびっこ
お楽しみコーナー
<ふわふわドームなど>
- れきはく工作コーナー
- 雲太くん、出雲ちゃんと
遊ぼう<記念撮影>

*詳しくはホームページなどでご確認ください。内容は変更になる場合があります。

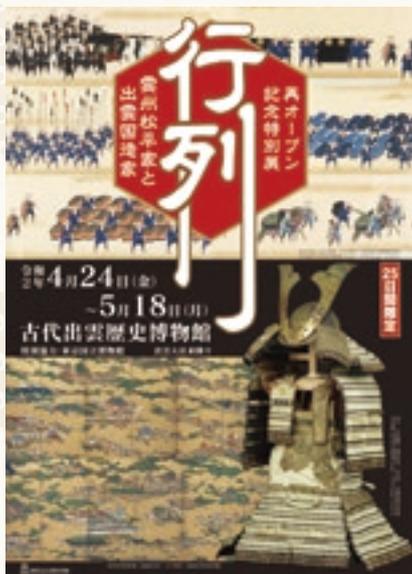
館長あいさつ

古代出雲歴史博物館 館長 松本新吾

東京国立博物館で1月15日から開催していた、日本書紀成立1300年 特別展「出雲と大和」は、3月8日、大盛況のうちに閉幕しました。古代日本の成立に迫る内容はまさに「日本博」にふさわしく、国内外の多くの方々にお楽しみいただけたものと思います。

さて、約5ヶ月間の休館を終えて、4月24日(金)に当館はリフレッシュオープンの日を迎えます。中央ロビーには新しく心御柱(模造品)を据えて宇豆柱とのペア展示を実現し、出雲国風土記のコーナーも展示構成をリニューアル、ほかにも映像展示の多言語化対応や断熱対策、照明のLED化も施しましたので、お客様には従来以上に快適な環境でご観覧いただけるものと思います。

再スタートの先陣を飾るのは特別展「行列 雲州松平家と出雲国造家」となります。東京国立博物館から13年ぶりに里帰りする白糸緞鎧(日御碕神社蔵・国宝)を始め、八幡三神坐像(赤穴八幡宮蔵・重文)や松平齊貴上京絵巻、さらには近年の研究で明らかとなった出雲国造家に関わる新発見史料・道具類などをご覧いただけます。令和2年度は、それ以降も、魅力に富んだ企画展・イベントを準備中です。是非、ご期待ください。



【再オープン記念特別展】

行列 雲州松平家と 出雲国造家

会期 令和2年4月24日(金)～5月18日(月)

◎開館時間／9:00～18:00 ※最終入館は17:30となります。

※会期中の休館日はありません。

25日間限定

会場 島根県立古代出雲歴史博物館
特別展示室

館長は森鷗外 鎌倉美術を代表する鎧と神像

東京国立博物館に寄贈された松江松平家ゆかりの文物、寄託された貴重な文化財が里帰り。森鷗外が館長（総長）をつとめていたなど、知られざる同館と島根とのゆかりも紹介します。



【重要文化財】

八幡三神坐像 (赤穴八幡宮蔵)

写真提供：東京国立博物館
Image:TNM Image Archives

【国宝】白糸織鎧 (大袖付 日御碕神社蔵)

写真提供：東京国立博物館 Image:TNM Image Archives

江戸時代、雲州松平家の藩主は2度にわたり多数の藩士を率いて天皇の即位の大礼におもむき、将軍の名代をつとめました。また出雲国造は明治のはじめまで毎年^{しんじょうえ}の新嘗会と、代替わりの際に杵築(出雲市大社町)から松江の神魂神社(松江市大庭町)へ出向いて神事を勤めました。

年号が平成から令和に改まり、当館も半年をかけたメンテナンス工事を経て新たな歩みをはじめにあたり、今回の特別展では「行列」をキーワードとして、東京国立博物館の特別な協力を得て雲州松平家や出雲にゆかりある文物を展示するとともに、近年の調査研究により新たに発見された北島国造家の古文書、神事に関わる資料を紹介し、知られざる出雲の歴史と伝統文化を探ります。

まぼろしの洛中洛外図の傑作 不昧が育んだ美の世界



洛中洛外図模本 (東京国立博物館蔵) 写真提供: 東京国立博物館 Image:TNM Image Archives



悟翁禅師あて尺牘 (東京国立博物館蔵)
写真提供: 東京国立博物館 Image:TNM Image Archives

総勢1,770人。壮大な雲州松平家の行列の制作過程、将軍に献上されたまぼろしの洛中洛外図、不昧の審美眼によって生み出され、もたらされた美の文化を紹介します。

知られざる 出雲国造の祭儀

古代、160名を超える供を率いて都にのぼった出雲国造。かつて神魂神社におもむく際に用いた道具の数々など、新発見史料をまじえて出雲国造独自の祭儀を紹介します。



二重亀甲剣花菱紋蒔絵先箱 (北島家蔵)



黒漆八雲紋蒔絵胡篋 (北島家蔵)

こちらもおすすめ!

記念特別展関連催事

関連講座

第1回

出雲の国造、 土を踏まず… ～近世新嘗会の基礎知識

- 日時 / 4月25日(土) 13:30～15:00
- 講師 / 錦田 剛志 氏
(万九千神社・立虫神社宮司)
島根県神社庁参与

第2回

雲州松平家の美・ 出雲の美

- 日時 / 5月9日(土) 13:30～15:00
- 講師 / 岡 宏三
(古代出雲歴史博物館専門学芸員)

各講座とも 定員100名(参加無料)

●会場 / 古代出雲歴史博物館 講義室

関連講座に参加をご希望の方は、
下記の方法でお申し込みください。

- お申し込み方法
電話・FAX・ホームページのイベント参加フォームのいずれかで事前にお申し込みください。
- お申し込み先
〒699-0701 島根県出雲市大社町杵築東99-4
古代出雲歴史博物館
TEL.0853-53-8600 FAX.0853-53-5350
<https://www.izm.ed.jp>

【個人情報の取り扱いについて】
この申し込みによって収集した個人情報は、島根県の規定に従って取り扱い、表記の関連イベント・講座開催の目的にのみ利用するほかは、法令に定めがある場合を除いて、第三者に提供することはありません。

ギャラリートーク

- 日時 / 4月26日(日)
5月10日(日)
5月17日(日)
各回10:00～11:00
- 会場 / 古代出雲歴史博物館
特別展示室
- 講師 / 古代出雲歴史博物館
記念特別展担当学芸員

参加には年間パスポートまたは
記念特別展観覧券が必要です。

企
画
展

大地に生きる

—しまねの災と幸—

◎会期／令和2年7月10日(金)～9月6日(日)〈57日間〉

■開館時間／9:00～18:00 ※最終入館／17:30

■会期中の休館日／7月21日(火)、8月4日(火)

◎会場／島根県立古代出雲歴史博物館 特別展示室

近年大きな災害が日本列島各地で頻発していますが、過去の島根の人々も噴火・地震・津波・水害といった自然災害に、たびたび見舞われてきました。しかし彼らは自然の猛威を前にしてなす術もなかったのではなく、災害からの復興を果たしてきました。そして、製鉄のために大地を崩し、耕地を開き、山林から薪や肥料を得て、たくましく生きてきました。

過剰な開発がかえって自然災害を招くこともあり、その営みは試行錯誤の連続でしたが、江戸時代には出雲国が綿の栽培と木綿製造の一大産地に成長したように、豊かな大地に変えたのです。

本展覧会では、時には災いをもたらす一方で豊かな幸をもたらす自然に、島根に生きた人びとがどのように向き合ったのか、災害・信仰・開発・綿作をキーワードに多彩な資料から迫ります。



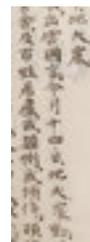
鯨絵 (当館蔵)



駿河町越後屋正月風景図 (個人蔵)



藍板締め竹に虎文様木綿布 (当館蔵)



類聚国史 (当館蔵)

ミュージアムパスポート会員様限定 キャンペーンのご案内

ミュージアムパスポート会員様には、日頃より当館をご愛顧いただき、あらためて感謝申し上げます。

当館は昨年11月18日から休館しメンテナンスのための作業等を行い、4月のリフレッシュオープンに向けて準備を進めております。

このたび会員の皆さまに日頃の感謝を込め、特別なプレゼントキャンペーンをご用意いたしました。リフレッシュオープンする4月24日から5月18日の間にご来館いただき、パスポートをご提示いただくか、新規にパスポートをご購入いただいた方全員に「れきはくオリジナル手ぬぐい」をプレゼントいたします。

この「手ぬぐい」はリフレッシュオープンに合わせて制作した、パスポート会員様限定の特別な品となっております。そのデザインは手に取ってからの楽しみ…。

ぜひこの機会にご来館いただき、リフレッシュした歴博をご覧ください。皆さまのお越しをスタッフ一同、心よりお待ちしております。



ミュージアムパスポート会員様 限定キャンペーン

期間 令和2年
4月24日(金)～5月18日(月)

内容 歴博ミュージアム
パスポート
ご利用の方および
新規購入者の方に

れきはく
オリジナル手ぬぐい
プレゼント お一人様
1枚限り

※パスポート1枚につき手ぬぐい1枚を差し上げます。
※お取り置きはできませんのでご了承ください。

引換時間 9:00～18:00

引換場所 古代出雲歴史博物館 情報交流室

いよいよフレッシュオープンも間近に迫りました。常設展示をはじめ、特別展・企画展などの展覧会も再開します。みなさまには、ご不便をおかけしましたが、今後ともよろしくお願いいたします。

まず、リフレッシュオープン記念特別展として、4月24日から5月18日まで、「行列 雲州松平家と出雲国造家」を開催します。本年1月15日から3月8日まで、特別展「出雲と大和」を東京国立博物館で開催しましたが、この東京国立博物館の特別協力により開催するものです。東京国立博物館所蔵の雲州松平家ゆかりの品々をはじめ、寄託されている国宝「白糸織鎧」（日御碕神社蔵）など、島根県ゆかりの優品を里帰り展示します。また、「平成」から「令和」へ天皇の継承儀礼が行われたことに関わり、雲州松平家と出雲国造家が、天皇の代替わりの際に果たしてきた役割や、独自の神事に関する品々を、共通する「行列」という視点で展示します。

次に、7月から9月初めにかけて開催するのが、企画展「大地に生きる—しまねの災と幸」です。東日本大震災や西日本豪雨災害など、近年大規模な災害が日本各地で頻発しており、島根県でも大きな災害を経験してきました。自然は、災害という大きな脅威をもたらす一方で、豊かな恵みも与えてくれる

存在です。島根の人々は、こうした自然とどのように向きあって暮らしてきたのか、「災害」「信仰」「開発」「綿作」をキーワードに、関係する資料により展示します。

神無月（出雲では神在月）に開催するのが、企画展「編纂1300年 日本書紀と出雲」です。2020年は、日本最初の正史である『日本書紀』が編纂されてから1300年になります。『古事記』とともに『日本書紀』には、オロチ退治や国譲り神話が記されるなど、古代において出雲は特別視されていたことがうかがえます。この『日本書紀』について、古代から現代に至る時代ごとの解釈や、それに伴う出雲の位置づけなどの変遷を、資料によりたどります。

年が変わって弥生3月には、特別展「しきしまの大和へ」を開催します。これは、日本を代表する考古学研究機関である、奈良県立橿原考古学研究所の附属博物館が所蔵する考古資料を巡回展示するものです。「しきしまの」とは、「磯城島の宮（崇神天皇）」のある大和、つまり大和にかかる枕詞として知られています。この大和から、古代日本の中心地であったことを示す多くの優品がやってきます。特別展「出雲と大和」で公開された国宝や重要文化財の考古資料もやって来ます。お見逃しなく！

古代出雲歴史博物館 展覧会スケジュール 2020(令和2年)

■ 再オープン記念特別展

行列 雲州松平家と出雲国造家

2020年4月24日(金)～5月18日(月)
★25日間限定 ※会期中の休館日はありません

4月24日再オープン。古代出雲歴史博物館の新たな歩みを記念して、東京国立博物館から日御碕神社の白糸織鎧(国宝)、赤穴八幡宮の八幡三神坐像(重文)など島根ゆかりの優品の数々が里帰り。また「行列」をキーワードとして、雲州松平家・出雲国造家の従来ほとんど知られていなかった重要な役割や他に例をみない独自の神事を、多数の新発見資料をまじえて紹介します。



国宝 白糸織鎧 日御碕神社蔵
写真提供：東京国立博物館
Image: TNM Image Archives

■ 企画展

大地に生きる しまねの災と幸

2020年7月10日(金)～9月6日(日)
※会期中の休館日/7月21日・8月4日

災害という大きな試練とともに豊かな恵みも与える自然に、島根の人々は根気強く、したたかに向き合い、この地で暮らしてきました。その営みの様子を災害・信仰・開発・綿作をキーワードに、古代から現代まで見通します。



鯉絵

■ 企画展

編纂1300年 日本書紀と出雲

2020年10月9日(金)～12月6日(日)
※会期中の休館日/10月20日・11月10日

『日本書紀』に記されたオロチ退治や国譲り神話の舞台であり、古代において特異な地とみられた出雲。このような見方は、果たして現代まで連綿と続いてきたのでしょうか。編纂1300年にあたる2020年、『日本書紀』と「出雲」の変遷をたどり、現代の出雲像の形成過程をひもときます。



『日本書紀』寛文九年版

■ 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館蔵品巡回特別展

しきしまの大和へ

2021年3月19日(金)～5月17日(月)
※会期中の休館日/4月20日

大和には古代日本の中心地だったことを示す多くの出土品があり、そこからは古代国家の形成に外来的な要素が多く関わっていたことがわかります。わが国のくづくりに外来文化が如何に関わり、どのようにして大和ごころが培われてきたのか、奈良県立橿原考古学研究所附属博物館所蔵の優品から見ていきたいと思います。 ※しきしま(磯城島)の大和にかかる枕詞



翡翠製合わせ勾玉
澤ノ坊2号墳 古墳時代前期
奈良県立橿原考古学研究所附属博物館蔵

れきはくごよみ

2020年イベントスケジュール

6月
初旬

体験水田 古代米の田植え



出雲農林高校の生徒とたいしゃ保育園の園児の皆さんが、一緒になって田植えを行います。田植えのあとは、古代米の試食会を行います。



4月24日(金)~26日(日) リフレッシュオープン 記念イベント

神楽上演や太鼓の演奏、
神話の紙芝居など
イベント盛りだくさん!
ご来場の方には
先着プレゼントもあります。

※詳しくはホームページなどご確認ください。
内容は変更になる場合があります。

7/25
土

夏の体験学 「れきはく夏まつり」

様々な体験イベントをご用意して、皆様の参加をお待ちしています。



10/25
日

秋の体験学 「れきはく秋まつり」

風土記の庭で秋の一日を満喫してください！歴博ならではの体験をご用意しています。



9/5
土

れきはく 観月会



みんなでお月見を楽しみましょう！
今年も神楽を上演する予定です。

10月
中旬

体験水田 古代米の稲刈り



6月に植えた古代米を、古代の道具などをつかって収穫し、はで干しをします。

●日時や内容は変更になる場合があります。詳しくは内容が決まり次第、ホームページなどでお知らせします。

SHOP INFORMATION

ミュージアムショップ
オリジナルグッズ

30~50%
OFF!

リフレッシュ
オープン
記念



※写真はイメージです。

歴博

博物館カフェスタッフ

歴博リフレッシュオープンに向けて、
館内カフェでの調理、接客等を行っていただきます。

- 勤務時間/8:30~17:30
(一ヶ月単位の変形労働時間シフト制)
- 休 日/年間110日(9~10日/月)
- 雇用期間/令和3年3月31日まで(令和3年4月1日以降は原則更新)
- 勤 務 地/島根県立古代出雲歴史博物館内 マルカフェ
出雲市大社町杵築東99-4

同時募集 *博物館アテンダント 詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ

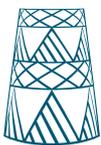


一畑電気鉄道株式会社

TEL0852-26-1313 ●担当/佐々木(平日8:30~17:30)

●時給●
840円~
●店長●
910円~

どこ行く? れきはく!



島根県立古代出雲歴史博物館

Shimane Museum of Ancient Izumo

〒699-0701 島根県出雲市大社町杵築東99-4
TEL.0853-53-8600(代) FAX.0853-53-5350
[URL] <https://www.izm.ed.jp> [E-mail] contact@izm.ed.jp
開館時間/9:00~18:00(11月~2月は9:00~17:00)
休 館 日/第3火曜日(変更の場合有り)



マスコットキャラクター
雲太くん



発行/令和2年3月



マスコットキャラクター
出雲ちゃん